

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	百貨店（営業担当）	・6月は子ども手当の支給開始や、サッカーワールドカップの開催などの明るい話題もあり、また景気が回復に向かっていくという経済指数のニュースも報道されるようになるなど、市場のムードもやや消費に関して積極的な姿勢が出てきたように感じる。
		コンビニ（経営者）	・インターハイによる来客数増が見込める。
		コンビニ（エリア担当）	・ゴールデンウィークにおける観光客の伸張は明るい兆しである。首都圏における景気回復の傾向が、観光客増の形で沖縄に反映されることや、6月に給付される子ども手当にも期待する。
		衣料品専門店（経営者）	・アメリカの金融問題などを始め、日本にも景気の影響を及ぼした様々な問題から数年が経ち、世の中の人々が不景気慣れした上に、節約に対する飽きが来ている感がある。消費自体は楽しいことであり、不景気のなかでも工夫しながらお金を上手に使う傾向は続き、今年はこれからもっと良くなるものと推測される。
		通信会社（店長）	・ボーナス商戦に合わせたキャンペーンや新機種の発売により、期待できる。
		通信会社（店長）	・まだ良くないが、最近の傾向からは、購入動機があれば前年よりは活発な動きがあると感じられる。6月以降は新商品の発売のほか、子ども手当や沖縄での高速道路無料化などもあるので期待が持てる。
		観光名所（職員）	・5月はゴールデンウィーク期間外も前年並みの利用者数である。7月から8月にかけては、インターハイが開催されることから、ここ2、3か月は沖縄への入域客数は前年比で増加することが予想される。
	変わらない	スーパー（販売企画担当）	・子ども手当が6月より支給されることになり、若干の期待はあるが、景気回復とまでは行かない。
		コンビニ（エリア担当）	・天候要因やインターハイ等のイベントによる特需で、客数は増えるが、一過性のもので景気を押し上げるものではない。購買意欲は上がらず、客単価も1%前後下がった状況が続く。
		衣料品専門店（経営者）	・回遊客が、前年と比べて少ない。購買意欲も以前ほどではない状況であり、これからもあまり変わらない。
その他専門店〔楽器〕（経営者）		・夏祭りやインターハイに期待したいが、デフレスパイラルによる長期的な不景気感と参議院選挙で景気は良くなるはならない。	
やや悪くなる	観光型ホテル（総支配人）	・インターハイなどの一過性のイベントによる集客はあるが、それでも前年比15%前後の落ち込みが予想される。景気回復基調にあるといわれるが、実感としては前年以上に厳しい状況になる。	
	観光型ホテル（マーケティング担当）	・予約受注が非常に厳しい状況であり、今月よりも販売が伸びないことが予測される。また上海万博、平城遷都1300年祭といった他地域のイベントが多数あることや、日経平均株価が今年の最安値を記録したりと、経済情勢も厳しい様相が予測されることから、今後の旅行需要が収縮すると見られる。	
悪くなる	商店街（代表者）	・中心商店街のエリアは観光土産店が多くなっており、同業者で客を奪い合っている。客の購買力も落ちているようで、危機的状況に陥っている。地域の消費動向も大変落ち込んでいる。地元客は外部の大型店に流れていく。	
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・街全体の動きは渋滞の状況などから、良くなってきているように感じるが、飲食業界はまだ冬の時代が続く。外食回数や単価の低下、生鮮品の値上げ、求人難、分煙など、対処しなければならぬ課題が多い。	
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		食料品製造業（管理部門）	・受注量が増える見込みである。
		通信業（営業担当）	・首都圏からの受注案件の話が多少始めている。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・建設業の受注高は、公共・民間とも前年比減少、先行きも横ばいの見通しである。
建設業（経営者）		・引き合い件数及び相談のための来社件数が足踏み状態である。	

		輸送業（営業担当）	・全国的に景気は回復傾向にあると見られるが、県内についてはその影響を受ける時期が遅れることもあり、2、3か月で目に見えて景気が回復することは無い。
		輸送業（代表者）	・全地区とも季節要因を除いては、好調に推移する。4月から始まった生コンの規制強化も、目立った影響は出ていない。
		広告代理店（営業担当）	・広告業界の現状としては、国、県、市町村の単発的な補助事業に依存する傾向が続いているため、先行きが不透明な状況である。やはり、県民の消費支出が成長して民間企業の販促投資が活発化するまでは厳しい状況と言える。
		会計事務所（所長）	・まだまだ国内景気回復には程遠い。客単価が上がるのは、指標等で景気回復が目に見えるようになってからでないと難しい。
	やや悪くなる		
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（営業担当） 職業安定所（職員）	・求人企業も増加しており、求人広告に使う費用も増えてきている。業界でもデータでは上向きになってきている。 ・沖縄県の完全失業率の上昇が止まり、前月、今月共に8.0%と同値で推移している。今後は、減少が期待される。
	変わらない		
	やや悪くなる	学校〔専門学校〕（就職担当）	・県外求人は前年並みに獲得できているが、県内求人数が伸び悩んでいる。県内景況は前年より芳しくない。良くも悪くも1～2年程のタイムラグで県外からの影響を受けると考えると、今年度は前年度より悪くなる傾向にある。
	悪くなる	-	-